

<p>船迫中学校 学校だより 第21号 平成29年3月24日</p>	<p>そっ たく 啐 啄</p>	<p>啐は殻の中で雛が突つく音、 啄は母鶏が殻を噛み破ること。 またと得難い良い時期を意味する。</p>
--	----------------------	--

本日、修了式を迎え、平成28年度の主な教育活動が終了しました。保護者・地域の皆様におかれましては、この1年間、多大なるご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

1年間学校へのご支援・ご協力ありがとうございました。

第3学期修了式 式辞

皆さんおはようございます。先ほどの所感発表はどの学年もこの1年を振り返り、来年度に向けての決意が感じられ、素晴らしいものと思います。また、先日は卒業した3年生への感謝を表し、予餞会ではどの学年も劇やダンスや合唱など十分に皆さんの思いが伝わったのではないのでしょうか。卒業式の準備では、2階廊下の隅々まで丁寧に掃除している姿や当日早朝から昇降口を一生懸命はいている姿をみました。明らかに掃除後の玄関はきれいで、卒業生や保護者の方々が喜ばれたのではないかと思います。このような皆さんの何気ない行動が学校全体をすがすがしいものにし、ここで生活する私たちに潤いを与えてくれました。また、生徒会の皆さんも駅伝大会の実施や挨拶運動の充実など新しい企画を考え、船迫中のさらなる発展に頑張ってくれました。本当にありがとうございました。

さて、今日は「心の成長」について話したいと思います。先日卒業した3年生の文集の中に次のような言葉がありました。紹介します。

「仲間の成長を認め、素直に人と接することができるようになった。興味のないことでも積極的に取り組もうという考えをもった」「クラス一人一人の良いところが分かり、何か自分にできることはないか考え行動するようになった」

この2人の生徒は全ての仲間、クラスメイト、下級生など相手の良い点を認め、1人の人間として尊重し、関わりをもとうと努力したことです。そのことにより友達の良さや学級の一員としての自分の存在感を見いだすことができました。相手を認め、理解することは簡単なことではありません。それは、私たちは学級や部活動の気の合う仲間と生活をしていた方が安心で自分の居場所があるように思えるからです。しかし、それでは人は成長しません。いろいろな考えを持った多くの同級生や先輩、後輩、大人の人など、いろいろな方々と話してみてください。是非、新年度は自分の殻を破り、友達の良さを積極的に認め、人と人との繋がりを大切にしてください。

また、ある3年生は次のように書いていました。

「表情が豊かになった。本気で取り組むことを知った。1つのことに悩みつくし、疲れ切るまで、そして、その先にある達成感も知った。自分の粘り強さや絆があることを知った。」

自分を素直に表現することができ、笑顔で謙虚な態度で友人と接することの大切さをこの生徒は気付いたのです。何かにかむしゃらに全力で取り組むことにより、自分の成長や自分を認め、自分に自信がもてるようになってきます。そして、達成感、充実感を味わい、また次の自分の成長のために励むことができるのです。

1、2年生のみなさん。1年はあっという間です。自分の目標に向け友達を多く作り、何事にも笑顔で全力で取り組んでください。

次に2つ目ですが、皆さんはいよいよ4月から3年生2年生として船迫中学校のリーダーとして活躍してくれると信じています。先日、廊下ですれ違った2年生の挨拶や態度が、何か以前とは違って最上級生らしくなってきたと感じる場面が多くありました。最上級生・中堅学年としての心構えが育ってきていると感じました。では、リーダーのあるべき姿はどのようなもののでしょうか。いろいろな条件があると思いますが次の2点を紹介しますので参考にしてください。

1つ目は「まわりに元気を与えられる、希望を与える存在であること」です。これは自分から発する言葉や態度は、いろいろな方法で相手に伝えることができますが、やはり常にリーダー自身が明るく笑顔でみんなに接することが大切です。また、リーダーは大きな夢、目標を持って、いつかはそれを成し遂げたいと強く思い、それをみんなに語りかけることです。同じ夢をもつ多くの友をもつことによりその集団は活気づき、大きな力となって前進することができます。

2つめのリーダーの条件は「自分に厳しく律し、感謝の気持ちを持つ人です」先頭に立つ人は自分の生活管理ができなくてはなりません。皆さんの手本、目標となる人ですから、時間を守り、しっかりと挨拶ができ、やるべきことを誠意をもって一生懸命取り組む人でなければなりません。また、自分を律することはしっかりとした気持ち、覚悟がなければできません。自分に甘え、できないことを正当化するようでは成長はありません。是非、自分に厳しく目標を持って励んで欲しいと思います。また、常にみんなに感謝する心を忘れてはなりません。人との関わりで私たちは大きく成長するのです。全ての皆さんに感謝を忘れず生活して欲しいと思います。

明日からは春休みです。期間は短いですが、進級するための準備としてこれまでの学習を復習し、また、6月の中総体に向けての充実した練習となるよう皆さんで力を合わせ、自分に厳しく練習して欲しいと思います。みんなでまた、新しい素晴らしい船迫中学校をつくっていきましょう。

1年2組 明間 由花 さん

私は、この3学期は様々な活動に参加し、学年や個人で成長していることに気付くことができました。まず学年としては、人の話を聞き入れ、そして行動に移すということができるようになりました。2学期までは、人の話を聞くだけの人が多かったように思えます。ですが3学期になり、学級委員会で話し合い自主学习ノート提出強化週間を持ちました。各班の班長とも協力してノート提出を促したところ、両クラスともに提出人数がかなり増えました。これは、班長の呼びかけや提出した人、一人一人の学習に取り組む姿勢の表れだと思います。次に自分については、各行事により積極的に取り組めるようになったと思います。これまでは、どこか人任せなところがあったり、自分の分担の仕事を済ませたら、後は周りの人に任せるようなことがありました。ですが3学期の予餞会では、自分のできる仕事、やりたい仕事を見つけ全力で作業に取り組むことができました。今までは経験がなくて「怖い」と言い訳をしていたことも、試したことがないからこそ楽しいと思えるようになりました。学級委員として予餞会の劇のために台本を書いたり、太陽の村からスケッチをしたり、各場面で登場するメンバーと話し合いを重ねました。本番に向けての練習期間は、経験したことのないことばかりでしたが、とても楽しく充実した時間になったと思います。

そしてもうすぐ2年生になり、今までより行事や責任等増え大変になるかも知れません。それでも学習も部活も手を抜かず、決まりをしっかりと守れる学年になれるようにしたいと思います。そして私も、学習では苦手をなくし、部活動は基礎体力を身につけ、思いっきり取り組みたいと思います。

2年1組 山家 彩乃 さん

私は来年度に向けての抱負が二つあります。1つ目は学習面です。私は来年度受験生になるという自覚がなくいつも自分を甘やかしていて、自分で最初に決めたこともなかなか実行に移せないことが多々ありました。例えば、授業で習ったことをその日のうちに予習、復習をすると決めていても「明日まとめてすればいいや」などと思うことがありました。ですから、3年生になったら自分に厳しく毎日、授業で習ったことをその日のうちに予習、復習をし、受験という言葉をもっと頭に入れておきたいと思います。2つ目は生活面です。私は学級委員として、朝に執行部と一緒に挨拶運動を行っています。はじめた最初の頃は、「ああ。面倒くさいなあ」と思っていたけれど毎回挨拶運動をしているうちに、学校全体に挨拶が広がり、自分自身も挨拶が身に付き、気付いたら廊下ですれ違った時や地域の人達に積極的に挨拶ができるようになっていました。来年度学級委員になっていなくても、自ら率先して挨拶をしていき、学校全体に思いやりのある挨拶を広げていきたいです。最後に迫中の顔・リーダーとしての自信、責任、自覚をもち、学習に部活、学校生活と何事にも全力で取り組んでいきたいです。

2年1組 幕田 隼人 さん

私は、去年の9月に生徒会執行部に入り、感じたことがありました。それはとても大変だということです。私は、1年生の頃に学級委員をした経験がありましたが、学級をまとめることと、学校をまとめることは、苦勞の大きさが全く違いました。なぜかという学校をより良くし、全校生徒の皆さんの学校生活が充実するよう、自分達で挨拶運動の場所の改善や意見箱を廃止しアンケートに変えるなど、新しい政策を考えることが増えたからです。一昨日行われた部活対抗駅伝大会など新しい行事の企画運営をし、皆さんから寄せられた意見などに答え、人の前に出ることが多くなったからです。執行部に入ってから、気付かされたことがありました。それは、力不足を言い訳に、他の執行部員に頼ってしまう自分がいるということです。ですが、新年度はそんな自分の弱い所を執行部の活動をきっかけに直していき、より良い学校作りに貢献していきたいと思っています。

4月には新1年生が入学して、私達もそれぞれ学年が一つ上がります。中央委員会で承認していただいたサブテーマの「最高の仲間と共に最高の瞬間（とき）を」のような、友達と協力し合いより明るく楽しい学校を創るためには、全校生徒の皆さん一人一人の力が必要です。今以上に素晴らしい船迫中学校になるように、一緒に頑張りましょう。ご協力宜しくお願いします。